

## 珍しい交響曲 エストニア Minor Symphonies Estonia

作曲者	生没年	交響曲の数	曲名	評価 ★★★★★:ぜひ聞いて欲しい ☆☆☆☆:聞く価値はある ※※:どちらとも言えない ×:聞く価値なし	コメント	○の曲のスコアは保有しています。	CD番号	レーベル
Arvo Part	ペルト	1935-	交響曲第1番(1964)	※※	2つの楽章で19分。12音技法の作品ですが聞きやすいです。		4816802	ECM
			交響曲第2番(1966)	×	3つの楽章で10分。12音技法の作品		4816802	ECM
			交響曲第3番(1971)	☆☆☆☆	3つの楽章で20分。この時代の物とは思えないほど分かりやすい旋律と響きに終始します。		8.554591	NAXOS
			交響曲第4番(2008)	☆☆☆☆	3つの楽章で29分。分かりやすい佐品です。		4816802	ECM
Lepo Sumera	スメラ	1950–2000	交響曲第1番(1981)	☆☆☆☆	2つの楽章で31分。ミニマルミュージック風。ペルト風の部分もあり。第2楽章にはショスタコービッチ風のマーチもあります。		ODE1449	Ondine
			交響曲第6番(2000)	※※	2つの楽章で23分。第1楽章では静かな部分と大音響の部分が繰り返されます。		ODE1449	Ondine